



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第153号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和5年5月26日



【今月のピックアップ!】

- ① 盲ろう者の訪問支援を実施します

【手話カフェ】

- ② 聞こえないのかも?としてみる

【お知らせ】

- ③ 聴覚障害者 災害支援ハンドブック(改訂版)が出来ました!
- ④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」5月の催し
- ⑤ 障害者芸術作品の巡回展・体験ワークショップの開催



- ① 盲ろう者の訪問支援を実施します

盲ろう者とは、視覚と聴覚の両方に障害がある人のことで、その度合いは人それぞれです。

県内に約1,000名の盲ろう者がいると推定されていますが、ひょうご盲ろう者支援センターが実施する「盲ろう者向け通訳・介助員制度」利用者は73名(R5.4.1現在)で、多くの盲ろう者が制度を知らないまま必要な支援を受けていないことが想定されます。

そのような盲ろう者の支援に繋げるために、兵庫県では、令和5年度より、アウトリーチ型訪問支援を核とする「盲ろう者の社会参加促進体制の構築事業」を実施しています。ご連絡をいただきましたら、兵庫盲ろう者友の会の支援員が制度のご説明にお伺いします。

お近くに対象となる方がいましたら、盲ろう者支援センターのご案内をお願いします。

■お問合せ

特定非営利活動法人兵庫盲ろう者友の会

TEL/FAX:078-579-7600

<http://www.hyogo-db.com/>

②【手話カフェ】 聞こえないのかも？としてみる

外見からはわからない聴覚障害。

街ですれ違っても、乗り物の向かいに座っていても、耳が聞こえにくい・聞こえない人に気づくことはないでしょう。でも、耳が聞こえて当たり前・・・という価値観から、今年度は少し脱却してみませんか？

例えば、前を歩く人のポケットから何か落ちた。「あ、落とし物ですよー」とあなたは声をかけた。でも、その人はどンドン歩いて行ってしまふ。「なーんだ、教えてあげたのに無視か。じゃあ、いいや」と心の中で思ってあなたも歩き出す。

・・・こんな時、「もしかして、聞こえないのかも？」と試してみたい。

たまたま、同じ方向に歩いて様子を見ると、横断歩道で立ち止まった時に、あちこちポケットや周りを見回して何かを探してる。「あれ？探してるみたい。さっき落としたものかな」あなたは思って「さっき、落とし物してましたよー」ともう一度声をかけてみる。それでも、こっちを向かない。「なんだ、また無視か」

2回目のチャンス、「もしかして、聞こえないのかな？」

そこで、もう少し近寄っていきと、ようやく気づいてこちらを向いてくれたので、「さっき、あっちで落とし物してましたよ。何回も言ってあげただけど」ちょっとむっとなってしまふ。すると、その人は少し戸惑っている様子。「あっちで落とし物してましたよ」思わず、指をさして言うと、その人の顔がパツと明るくなり、「あっち？」うんうん、「ありがとう(もしかして手話かも)」と言って走って取りに行った。

「あ、聞こえなかったんだ。耳が聞こえない人だったんだ」

聴覚障害に気づきにくいということは、どのような場面で困っているのかもあまり知らないことにつながっています。

落とし物もその一つです。耳が聞こえる人も落としものはしますが、声をかけてもらえば振り返って知ることができます。もし、音がするものなら、落としたものの種類、大きさ、転がった方向なども音情報から聞き分けることが可能です。

しかし、音や声が聞こえないと落としたことに気づかず、呼びかけてもらったこともわかりません。物をなくすことに加えて、誰かをむっとさせてしまうことが起こってしまったりします。聞こえない人からすると本当に残念で不本意なことですね。もし、大切なものをなくしたら、すぐに連絡したくても電話もかけられないのです。

落とし物は一つの例ですが、このように聞こえないことで、困る場面は多々あります。

聴覚障害の人がいることを頭の片隅に置いておき、「無視した」「失礼な人だ」という気持ちになる寸前、「もしかして、聞こえないのかも？」と切り替える力を持ってほしいです。そんな価値観をみんなが持てば、もっとコミュニケーションにあふれ、暮らしやすい社会になるのかなと思います。

今回は、耳が聞こえない人への呼びかけ方について書きますね。

■「手話カフェ総集編」もぜひどうぞ！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shuwa_cafe1.html

兵庫県設置手話通訳者

③ 聴覚障害者 災害支援ハンドブック(改訂版)が出来ました！

県立聴覚障害者情報センターでは、阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、聞こえない人の支援方法等がまとめられた「聴覚障害者災害支援ハンドブック」が平成23年に作成され、この度、改訂版が発行されました。

「聞こえない人にやさしい避難所」のイメージ図や、電話リレーサービス、遠隔手話通訳など新たに始まっているサービスなどの情報も掲載されています。

HP からダウンロードできますので、地域の防災学習会などで活用ください。

<http://blog.livedoor.jp/hcenter/archives/41952276.html>

④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」5月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、6月30日(金)まで人権書道きらきら「きらきら書道展～桑鳩(そうきゅう)生誕の地、三木からの風～」を開催しています。

前期(～5月11日まで)の作品の大半を入れ替え、後期(5月13日～)も伸びやかな作品が多く展示されます。作品名にもぜひ注目してください。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた作品をどうぞご鑑賞ください。

■人権書道きらきら「きらきら書道展～桑鳩(そうきゅう)生誕の地、三木からの風」

と き 開催中～6月30日(金) 10 時～18 時まで

※5月12日は作品入替えのため閉場

※最終日は午後 12 時閉場

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階
(神戸市灘区原田通 3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

⑤ 障害者芸術作品の巡回展・体験ワークショップの開催

7月11日(火)から県内各地において、3月に兵庫県立美術館で開催されました、第18回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」で受賞した作品と、各地域の障害福祉事業所等で制作された作品の展示を行います。

また、7月15日(土)には県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」研修室において、絵本作家 WAKKUN による墨筆絵画体験や、障害の有無にかかわらず簡単に演奏できる楽器の体験を行う、ワークショップを開催予定です。

ご興味のある方は、下記お問合せ先までお問合せください。

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
(兵庫県ユニバーサル推進課内)
TEL 078-362-4090

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040
Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
